

THE NIGHT THEATRE

in KUMAMOTO

— 第15回記念 クリスマス上映会 —

ダント

アンジェイ・ワイダ監督作品

DEPARDIEU DANS UN FILM DE WAJDA

avec dans le rôle de ROBESPIERRE / WOJCIECH PSZONIAK
PATRICE CHEREAU • ROGER PLANCHON • JACQUES VILLERET
ANGELA WINKLER • BOGUSLAW LINDA



12月25日(水)

(Christmas Day)

於：産業文化会館7F大ホール

前売 800円 (当日 1,000円) 19:00より1回上映

主催：熊本大学映画研究部

協賛：シネロマン

THE NIGHT THEATRE 15回記念作品

— クリスマス スペシャル プレゼント —

すべてのヨーロッパ人は
フランス革命の子孫である
(A.ワイダ)

ダントン

アンジェイ・ワイダ

1954年「世代」でデビュー。これは、「地下水道」「灰とダイヤモンド」とともに“低抗”3部作と言われ、この三本により彼の名を世界に知らしめた。以後60年代は、やや虚脱状態にあったが、75年、「約束の土地」でモスクワ映画祭グランプリを受賞。連帯との共同戦線から81年「鉄の男」を発表し、カンヌ映画祭でグランプリを受ける。他に「戦いの後の風景」などがある。

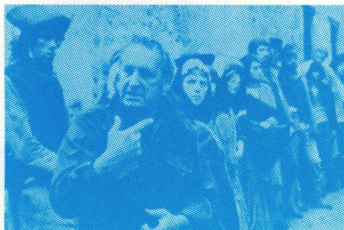
解説

「ベルサイユの薔薇」の舞台ともなったフランス革命。その激動の時代において、特に異彩を放つ二人の人物、ダントンとロベスピエール。彼らの人間的魅力、欠点、思想と行動、友情と対立を、大きな歴史のうねりのなかでドラマチックに描いたのがこの映画である。

監督に当たったのは、「約束の土地」のアンジェイ・ワイダ。彼は、1958年「灰とダイヤモンド」を発表して以来、戦後ポーランド史における革命内部の矛盾を指摘し続けて来た。それが、ワレサの“連帯”運動を体験することで、この作品に結集したと言えよう。83年にフランスで公開された際には、歴史家政治家など各界の人々の間で様々な論争が起こったという。

主役のダントンを演じるのは、「終電車」、「隣の女」で名実ともにフランスのトップスターとなったジェラルド・ドバルデュー。ロベスピエールには、「約束の土地」でもワイダと組んだヴォイチュク・プジョニャック。女流作家Sプシヴィシエフスカ原作の「ダントン事件」をもとに、ルイス・ブニュエル作品でおなじみのジャンクロード・カリエールがみごとに脚色化している。

(上映時間 2時間16分)



菊池秀行ベストセラー 注目の映画化!

吸血鬼リビョ

© デザイン 天野喜秀
監督 芦田豊雄

同時上映



12月21日(土) 1月17日(金)
センターシネマ

陽春にシネロマンが贈る名作の数々 只今前売中!

12/28~1/17	1/18~24	1/25~31	2/1~7	2/8~14	2/15~21
恋におちて	オズの魔法使い	裸足の伯爵夫人	ガス燈	おしやれ泥棒	カサブランカ
目撃者	バンドワゴン	ガスの魔法使い	7年目の浮気	噂の二人	白鯨
					キーラーゴ

VIDEOソフトレンタル

らしっと

子飼肥後銀行隣

☎343-1603

ネギ豚・鍋焼うどん
お好み焼

エポック

黒髪5丁目

We want
one more coffee
Itarian or
American?

珈琲
かぷちーの

黒髪店 345-4931
堀川店 345-4955